

特集

女性経営者座談会

女性が輝く社会に向けての課題と 法人会で得られるもの

「2020年までに、指導的な地位を占める女性の割合を30%に」という目標が掲げられ、第二次安倍内閣の成長戦略の中、「女性の活用」は大きなテーマとされている。一方で、5000人以上の企業における女性管理職はいまだ1%未満という現状もある。今回は法人会で活躍する女性経営者に「女性が輝く社会」への課題や、法人会とのかかわりについて、率直な意見を述べていただいた。

——先に行われた第二次安倍内閣の内閣改造では過去最多に並ぶ5人の女性閣僚を登用。「女性の活用」を成長戦略の中核に位置づけ、安倍首相は「女性が輝く社会」を目指すと言っています。本日は女性経営者として活躍されている皆さんにお集まりいただきました。まずは簡単な自己紹介と、政府の方針や、実際に女性の労働環境をどのように感じているか、お聞かせください。

マを決めてリノベーションをするのですが、当社は女性スタッフが多く、女性らしい視点やきめ細かさを活かして中古物件を甦らせることに注力しています。

第二次安倍改造内閣については「登用された5人の女性は本当に実力を認められて入ったのだろうか?」というのが率直な疑問です。女性だからという理由だけで、イメージ作りのためだけではという違和感があります。

「女性の活用」と云う面においては、今回登用された女性議員のご活躍に期待します。女性だからできる発想、社会や企業への貢献度等をぜひアピール頂き、働く女性に意欲をもたらして欲しいと思います。

村松 横浜で「株式会社オンリーワン・21」という人材派遣の総合プロデュース業を営んでおります。イベント・パーティのスタッフや人材派遣をしながら、ほかにもお客様の祝賀会、周年、

竣工、全国大会なども手掛けております。また、2020年東京オリンピックを目指して、おもてなしと積み重ねてきた人材を活かし、今後は女性に向けてさまざまなスクールの開講も予定しています。

先の内閣改造については、確かに折本さんの違和感もよくわかりますが、一方で、登用しないと道が開けないからこうせざるを得ないという側面もあります。現時点での実力うんぬんだけでなく、経験も積んでもらい、優秀に育てていかないと先にながつていかないということですね。

男性が考えた枠組みでなく 女性が考える必要も

折本 私は広島で「ゆめみらい株式会社」を経営しており、不動産仲介業務のかたわら、中古ビルを一棟丸ごと購入し、リノベーションして販売する事業をしています。たとえば「イギリス風」とか「節約重視」とか、統一テー

トを行われた第二次安倍内閣の内閣改造では過去最多に並ぶ5人の女性閣僚を登用。「女性の活用」を成長戦略の中核に位置づけ、安倍首相は「女性が輝く社会」を目指すと言っています。本日は女性経営者として活躍され

ている皆さんにお集まりいただきました。まずは簡単な自己紹介と、政府の方針や、実際に女性の労働環境をどのように感じているか、お聞かせください。



横浜中法人会の村松和代さん

(株)オンリーワン・21
村松和代氏(横浜中)
×
(有)環境リサーチ
新田直子氏(札幌東)
×
ゆめみらい(株)
折本 緑氏(広島西)

かつては男性が外で働き、女性が家を守るという役割分担があつて、それを背景に男性が働く、働き方のモ

は
村松 ただ、昔のようにご主人を待つて家のことをやれば生活が伴うという時代でもなくなってきて、少子高齢化も進み、男性だけの手では日本はもうよくならない。女性なりの知恵を借りて日本全体をよくしていかないといけないのは確かですね。一方で、家のことも仕事もやって豊かに生きたい、外に出たいという女性も多くなってきたと思います。私は30年間働いてきて、周りを見ても同じ40～50代の女性経営者というのはあまりいません。でも、どんどん出てくるのだと思います。

その下の世代にはいますし、これからどんどん出てくるのだと思います。



広島西法人会の折本緑さん

デルができあがっていました。ところが今は、その枠組みは変わらないまま、女性に求められることばかりが多くなっています。女性も外に出て働きましょう、少子高齢化なので子供を産みましょう、老人の最期を家で看取りま

は、やはりムリでしょう。

村松 ただ、昔のようにご主人を待つて家のことをやれば生活が伴うという時代でもなくなってきて、少子高齢化も進み、男性だけの手では日本はもうよくならない。女性なりの知恵を借りて日本全体をよくしていかないといけないのは確かですね。一方で、家のこ

とも仕事もやつて豊かに生きたい、外に出たいという女性も多くなってきたと思います。私は30年間働いてきて、



札幌東法人会の新田直子さん

としている過渡期で、私たちの世代は男性的な働き方をして、一番荒波をかぶってきたのかもしれません。その後に新しい人が続いてきていますね。当社も女性スタッフが多いんですけど、女性って欲張りなんですね。きれいな洋服も着たいし、おいしいものも食べたかったのですが、同時に生き生き輝いていい、あのバッグも欲しい……。それをかなえるためには収入も必要だから働かないと意味がありません。そのために何は無理はない。社会の枠組みを今より少し広げて、もう少し女性が入りやすい、働きやすい形ができるかなと思っています。

としている過渡期で、私たちの世代は
男性的な働き方をして、一番荒波をか
ぶってきたのかもしれません。その後
に新しい人が続いてきていますね。当
社も女性スタッフが多いですけど、女
性って欲張りなんですね。きれいな洋
服も着たいし、おいしいものも食べた
い、あのバッグも欲しい……。それを
かなえるためには収入も必要だから働
くのですが、同時に生き生き輝いてい
ないと意味がありません。そのためには
無理はしない。社会の枠組みを今よ
り少し広げて、もう少し女性が入りや
すい、働きやすい形ができるかなと
思っています。

云は、やはり女性が考えない
かと思います。
今後どんどん女性が進出
し、一方で優秀な女性もいる
。どうでない女性もたくさん出
てくることになると思います。私も女
性はわがままもありますから
こなつて考えることは大切だ
が、折本さんがおっしゃる
ように女性に都合のいいものになら
ないといふ意味がない。そのため
に、やはり優秀な女性が考え
ていくように、一緒に育成す
く安になつてくるのではと考え
ます。

一生懸命に活動することで
お互いの理解が深まっていく

——単に「女性だから」ということではなくて、今後は女性として中身もより問われていくということでしょうか。それでは、女性経営者として、これまで法人会で活動される中でご苦労されたことや、そこから得られたことについてはどうなったのでしょうか。

新田 札幌東の青年部会では、確かに女性は3人と少ないですが、特に女性経営者として苦労したことはなかつたですし、逆に、部会活動には女性だからこそ活躍できる機会も沢山あり、喜んでいます。

貢献活動でも参加率がいいという事です。中でも租税教室には力を入れて、子供たちに授業をするのでやはり私達も真剣になります。そのために勉強もするのですが、今考えると法人会に入る前は、経営しながらも税について少し無関心なところがあつたと思います。それが、様々な活動を通して、また法人会の研修会等に参加して学ぶことが、経営の役に立っています。「自分の学校の机や教科書にも税金が使われていると知つてびっくりした」という子供たちの新鮮な反応も印象的で、税の啓発活動をしながら、自らの企業経営を見直す機会も頂けています。

村松 私は今年で法人会に入つて30年目と長いのですが、あえて苦労したと言えば、私と会社を理解してもらうまでには少し年月がかかつたかなということでしょうか。最初は、男性陣の中に23、24歳の小娘が一人でしたから、諸先輩にもだいたい煙たがられたり、警戒されたり。今でも思い出すのは最初の頃のバス研修。そもそも会社のことを覚えてもらおうと入会したので一人で参加するのですが、行つた先でござお昼のフリータイムになると誰も一緒できる方がいません。かといって、先輩方に気を遣わせてもらひないので、行き場所がないまま、一人で時間をつ

ぶすのにとても苦労しました。

とはいっても、法人会に携わって一生懸命動くことで少しずつ顔と名前を覚えていただきました。さらに34、35歳で本会の常任理事、その後青年部会長になり、今度は役員になつて会のために一生懸命やることでようやく理解が深まつていく。そうした積み重ねがあつて、皆さんから信頼、信用を得ることができる、仕事にもつながつてきたのかなと思っています。

出会つて半年、1年の人には理解してもらう大変さと、10年つき合つていく大変さ、20～30年継続して会と上手につき合つていく大変さ。立ち位置も変わつてきて大変さはそれです。今は諸先輩からも後輩からも皆さん

女性の率直なトークが展開された座談会

が深まつていて、皆さんから信頼、信用を得ることができる、仕事にもつながつてきたのかなと思っています。

からよくしていただき、楽しく活動し、感謝しております。

経営者としての悩みを相談できるのも法人会ならでは

折本 広島では、昨年「全国青年の集い」を開催したのですが、私はその一大イベントに携わさせていただいたのが、とても刺激になり、いい仲間ができたなど実感いたしました。私は誘導の担当で、全国から参加される方々が迷わずに会場に到着できるように、会員には目印の赤いジャンパーを着て要所所に立つてもらいました。その中には広島でも折りの名士という会社の社長もいらつしゃいましたが、私の指示にいやな顔一つせずにジャンパーを着て、幟を持って気軽にやつてくださる。こうした経験というのも普通に仕事をしているとできない、法人会ならではの貴重なものだらうと思ひます。

あるいは今回の広島の土砂災害の被害者支援において、当社では不動産業として何ができるかを考え、空室の無償提供をしようといち早く決めました。ただ、うちが提供できるのは入れ物だけなんですね。そこで法人会の中で声を掛けると、布団屋さん、家具屋さん、タオル屋さん……と次々に腕まくりをして「やろうや」と参加してくれます。

法人会の活動というのは別にお金を

いたでいるわけではないのですが、確かに動けば動くほど、得るもののが大きくなつていくものだと思います。

新田 法人会に入つて、いろいろな業種の方々との自然な横のつながりが出来ました。これは私にとつて心の拠り所にもなっています。経営していく中で、悩む事も多々あります。特に当社のようないく清掃業では、労働人口不足の現状において、人材不足が深刻な問題にもなっています。まして他の業種に比べて賃金等の労働条件が厳しいので、募集をかけても人は集まらないし、採用しても短期間でやめてしまう。良い人材の確保には結構、苦労しますね。

そんな時、やはり同じ経営者という立場の皆さんに相談しています。「どうしたら社員の士気を高める事が出来るんだろう」とか、「活気ある職場づくりのためにどんな事をしているのか」とか。健全な企業経営を存続することが社長の責任もあり、自らの人生観が、会社理念とつながります。皆さんの助言が、とても心強いですね。

私自身は50歳を過ぎましたが、また新しい気持で雑巾かけをするような気分です。女性男性を問わず、大切なことは一緒だと思いますし、そんな姿勢でこれからも皆さんとの交流を続けていければと思っています。

ネットの社会だからこそ 積み重ねた信頼関係が大切

——法人会は営業の場ではなく、コミュニケーションの場として比重が大きいということでしょうか？

折本 普段仕事を前面に出す人はあまりいないですね。ただ、たとえばガラ

ス屋さん一つでも、何かで人を探しているような場合に、名簿を見て「この人たしかに動けば動くほど、得るもののが大きくなつていくものだと思います。法人会で知っているから、この人に頼もう」「この人なら大丈夫」と声をかける、そういう安心感は間違いないとあります。

村松 そうですね。何かの事業で一緒にして、お互いに一生懸命やることで人間関係が構築されます。それで「この人だつたらお願ひしてもいいかな」と、皆さんそうしたことが判断材料になつてているのではないか。今、ネットで調べれば頼めるところはいくつもあるかもしません。でもいざお願いするとなると、それは選びませんね。ネットでお願いするよりも、心遣い、気遣いをしていただける、会の活動を通してお互いを知っている、法人会の会員にはそうした信頼関係があるのがいいですね。

法人会の活動を通して得られる信頼は、やはりとても貴重なものですね。ありがとうございます。仕事に、法人会の活動に、皆様の益々のご活躍をお祈りいたします。